



太陽と月のカレンダー

※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
日付 ▼情報 暦(こよみ) ・天文現象 月の形 日の出 日の入 イベント 二十四節気						1 06:11 17:39
2 ・レグルス食(しし座のレグルスが月にかくされる) 06:10 17:40	3 ☆皆既月食 満月 06:09 17:41	4 06:07 17:42	5 06:06 17:43 啓蟄	6 06:05 17:44	7 06:03 17:45	8 06:02 17:46
9 06:01 17:47	10 05:59 17:47	11 下弦 05:58 17:48	12 05:56 17:49	13 05:55 17:50	14 05:54 17:51	15 05:52 17:52 星空さんぽ
16 05:51 17:53	17 05:49 17:53	18 05:48 17:54	19 新月 05:47 17:55	20 春分の日 ・夕方、西の空で細い月と金星が接近 05:45 17:56 春分	21 05:44 17:57 トワイライト	22 05:42 17:58 全編生解説
23 05:41 17:58	24 05:39 17:59	25 05:38 18:00	26 ・月と木星が接近 上弦 05:36 18:01	27 05:35 18:02 特別投影 星空観望会	28 05:34 18:03	29 05:32 18:03
30 05:31 18:04	31 05:29 18:05	☆皆既月食(かいぎげっしょく) 月全体が地球の影(かげ)に入り、月が欠けて見える。満月が次第に欠けてゆき、全体が影に入ると、月は赤銅色(しゃくどういろ)に見える。 3月3日 18:49 部分食の始まり・20:04 皆既食の始まり・20:33 食の最大・21:03 皆既食の終わり・22:17 部分食の終わり				

二十四節気

月の満ち欠けをカレンダーに使っていた旧暦(太陰暦)の頃から使われてきた季節の節目を表したもの。太陽の動きから1年を24等分している。

啓蟄(けいちつ)・・・冬ごもりしていた地中の虫がはい出てくる
春分(しゅんぶん)・・・太陽が真東から昇り真西に沈む。昼夜がほぼ等しくなる。

プラネタリウムイベント情報!
すべて星空解説があります。
※詳しくはホームページ等でご確認ください。

春の星空さんぽ
15(日) 15:50~16:40
見ごろの星や天文現象などのお話。

トワイライトプラネタリウム
21(土) 18:00~18:50
「UYUNI -天空の鏡・ウユニ塩湖-」

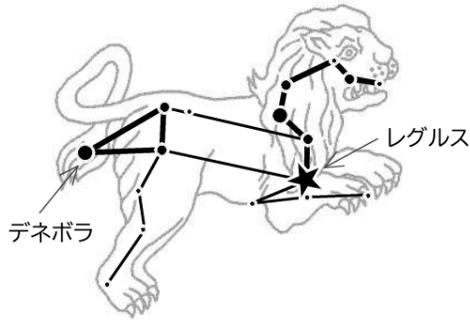
全編生解説プラネタリウム
22(日) 15:50~16:40
「ガリレオ衛星
-個性的な4つの月を探る-」

特別投影
28(土) 15:50~16:40
「教科書から広がる宇宙」

星空観望会
28(土) 18:30~19:30
事前申込制
観望天体：月、木星、すばる

しし座 -春の夜空にのぼるライオン-

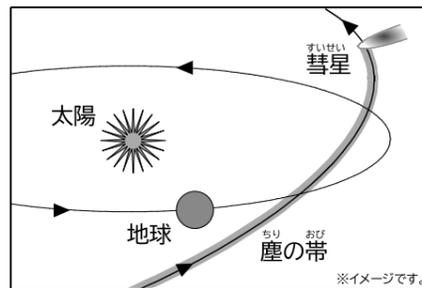
春の宵、空にしし座がのぼっています。レグルスはライオンの胸に位置する1等星です。レグルスから高いほうへ連なる、はてなマークを裏返したような形はライオンの頭から胸にかけての星の並び、2等星デネボラを含む3つの星でできる小さな三角形は、ライオンの腰から尾にあたります。



このライオンは、ギリシャ神話では「ネメアの森の怪物ライオン」の姿といわれています。硬い皮に覆われ、矢も剣も通じないこの怪物を倒したのは英雄ヘラクレスでした。怪物ライオンはしし座に、ヘラクレスは夏の星座のヘルクレス座になっています。

しし座流星群

しし座といえば、毎年11月に活動が活発になる、しし座流星群が有名です。テンペル・タトル彗星が残した塵が地球の大気に突入し、地上からは、しし座を中心に放射状に流星が現れるように見えます。

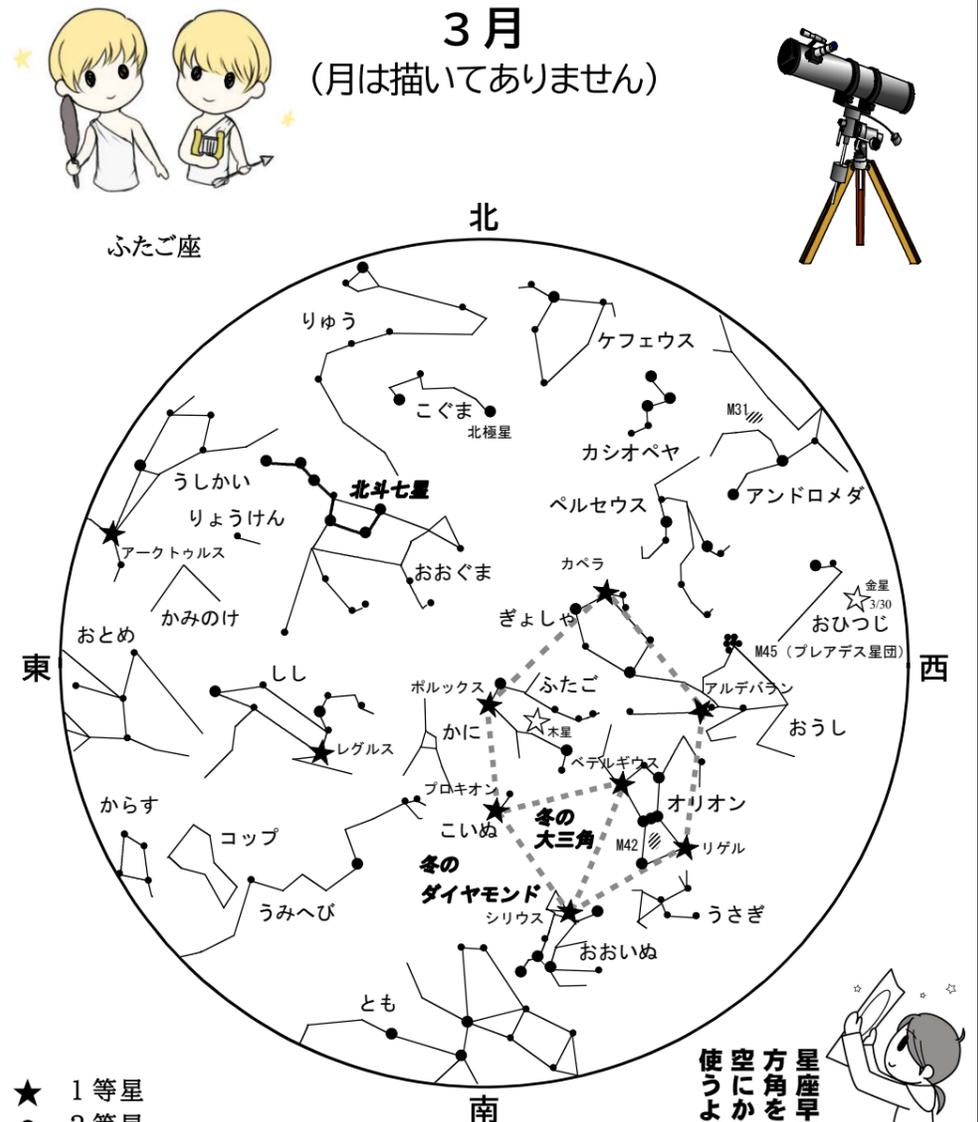


この流星群はおおよそ33年の周期で「流星雨」と呼ばれる大出現を起こし、人々を驚かせてきました。最近では2001年に、最も多い時で1時間に数千個もの流星が現れました。次の大出現は、2030年代前半と予測されています。次回も再び、「まるで雨のように降る」流れ星が見られるかもしれません。

★かんたん星座早見★

3月

(月は描いてありません)



- ★ 1等星
- 2等星
- ・ 3等星
- ☆ 惑星

星座早見は
方角を合わせて
空にかざして
使うよ。

3月1日午後9時00分頃 3月15日午後8時00分頃 3月30日午後7時00分頃

